

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会
2003年度第3回常任幹事会議事録

●日時
2003年9月27日(土) 15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 521号室

●出席者
秋元圭一 [会長]
西田一成 [常任幹事]
日野高 [副会長]
渡部征明 [常任幹事]
甲斐光省 [副会長]
松岡和彦 [常任幹事]
浜村圭一 [常任幹事]
小山弘 [常任幹事]
角谷祥子 [常任幹事]
岸明美 [常任幹事]
藤原成理 [常任幹事]
大村政幸 [幹事]

●委任欠席
土橋洋一(→秋元氏)
浅見博(→西田氏)
目須田修(→西田氏)
菊池満
五野勝弘
三浦嘉久(→秋元氏)
川島昭作(→西田氏)
中島かおる(→西田氏)
日下真理(→松岡氏)

常任幹事出席者11名・委任欠席者9名
定足数成立

●議事進行
議長・進行/松岡和彦
●書記/小山優子

●議題
議題1/
各委員会の活動報告

議題2/
会則検討について

議題3/
総会&パーティについて

次回日程

議題1/各委員会の活動報告

●在校生支援委員会の報告

担当の渡部氏から「学園祭に卒業生でイラストレーターの寺田かつや氏を招いて講演会を行います。日程は10月11日(土)の11時から1時間程度、場所は521号室でコンピューターを使っての、ペインティングなどのデモンストレーションを行います。司会は情報科のさかいゆういち先生にお願いしました。学生も同窓生も無料です。また、同窓会パーティー以後に日本装飾の工房体験ツアーを組みたいと思っており、そちらは現在調整中です。また、前回もお話したとおりに年末か年度初めに別の講演会も開く予定で、小宮山先生に浅葉克己氏を紹介して頂いた。会場は学校で学生は無料で、卒業生は有料でやれたらと思っている」との報告があった。

さらに秋元氏の方から「菊池校長と渡部先生からの相談で、学生が今年のヨーロッパの映像コンクールに入選し、現地での上映会に出席したいが費用が無い。学校側から個人に補助出来る金額は3万円で、全体では8万円程度かかるので不足分を同窓会から援助できないかとの内容でした。現在、同窓会には援助という項目はないので、逆に良いチャンスだと思う。今回、援助する学生には行くまでの過程や現地のレポートを書いてもらい、同窓会で発表する事などが考えられる。学生には早めに同窓会と関わりをもってもらい、お互いが協力できるような方向に展開できればと考えている。上映会の日程は総会&パーティー後すぐという事と、今後は基準や予算などを決めて同様なケースにも対応したいので、本日中に審議して承認をとりたいと思う」と述べた。

ここで、議長の松岡氏からの提案で、予定より出席者が少ないのもう少し集まった時点で審議し、採決をとりたいと述べて、この件は一時保留とした。

●ホームページの現状報告

web担当松岡氏から「要望があったリンクページを見やすくリニューアルした。また先日、加藤先生・小竹先生が亡くなられた事を同窓会の皆さんに報告が出来たことは大いに役立ちました。運営部分についてだが、新たな情報がないので、リフレッシュが出来ていないのが現状です。西荻のショップ関連で原稿も依頼したが、なかなか集まらない状態だった。今後、他の担当者に代わった場合も含め、どのように運営するかが大きな課題です」と報告があった。その後「(秋元)前に出たアサヒ新聞のトップインタビューとのリンクは可能なのか?」などの質問があり「(松岡)この件については藤原氏と話をしてもう少し詰めていきたい。それと掲示板等の書き込みを含め、今後も情報等の協力を皆さんお願いします」と述べた。

●事務局からの報告

担当の小山氏が小竹氏の奥様から送られてきたお礼状を読み上げた。この内容をweb上に公開するかが話し合われたが、同窓会からお花を送った事も含め、総会の時に報告することで落ち着いた。また、幹事会で使用する録音機(ICレコーダー)を購入した事を報告。さらに、9月の頭に前事務局長の西尾氏から事務局運営マニュアルを受け取り、引き続き改定しながら運用することを約束した。また、電子メールでの出欠票の返事を、次回から半年程度の期間テスト的に実行し、うまくいけば電子メール、ファックス、郵送で出欠票を確認する体制を整えると述べた。「(渡部)メールに移行して郵送が少なくなれば経費を押さえられる」「(秋元)メールの出欠票に関しては書き換えできないので、小山氏がプリントアウトして保存するなど有効となるだろう」などの意見の後、「(小山)議事録をどうやって送るか?メールで送信してデータ量が重くなった時に問題が出てくるかもしれない」との意見が出され、「(松岡)随時ホームページにアクセスしてダウンロードしては。また、他の同窓会員も見ることができるといいのではないか」などの意見交換後、テスト期間を経てから、順次移行する方向で決まった。

議題2/会則検討について

秋元氏から「総会の時に会則変更が迅速にできるようにするために、最低限の改正ということで9章第45条の{この会則は総会において正会員総数の3/4以上の議決を得なければ変更することが出来ない}から{会則は連絡幹事会において幹事総数の2/3以上の承認を得なければ変更することが出来ない}に会則変更する事を承認事項としたい。今後はこれを基準にして、会則改訂委員会で常任幹事・幹事の任期、選出法、などの見直しを中心に検討し、変更する時は常任幹事会での検討を前提とする。この内容で問題なければ承認していただきたい」と述べ、審議に入った。「(渡部)これは、今まで活動する際ネックになっていた部分だと思う。組織作りや組織が何をやるかが大切なので、過渡期の処置としてありえる。議事録や活動内容を総会、ネット上で常にオープンにすれば問題は起きないのではないか」「(秋元)年に1回、会員全員に報告をするようにしたので、会則変更の件も義務づけることを前提として考えている」「(西田)選挙方式と人選の見直しも含めて改訂したほうが良いのでは?」「(秋元)細かい所は総会までの期間だとまとめきれない」「(西田)幹事会が総会に変わる機能になれば、総会での報告だけで承認がいらなくなり、活動しやすくなると思う。また、会員全員が会則をもっていないことや、総会では人数の訂正や選挙制度の見直しなど、規約の細かいところは幹事会に任せてもらって、同窓会を機能させるために今回の改訂をおこなったと言った方が、一般の会員にはわかりやすいと思う」「(秋元)西田氏の意見を参考に案内には改正の理由も書き加えるように考えたい。印刷前にみなさんにメールで最終確認してもらおう」と述べ、議長の松岡氏が「以上の件を承認するか?」と挙手をもとめ、西田氏を除く全員が賛成して承認された。

議題3/総会&パーティ

●パーティ進行と内容の討論

担当の浜村氏から「日時は22日の5時～8時半まで。準備は1時から始める。実行委員は幹事全員を入れた。アルバイトも数人頼むことを検討した方が良くと思う。オークションなどの企画を考えていたが「あの会」の会員の方々に聞いてみたらあまり良い反応は得られなかった。松岡氏から同窓生を紹介してはどうかとの意見があったので企画に加えた。同窓生にこんな人がいるのかと知ってもらえるのではと思っている」と述べた。「(秋元)学校の歴史を展示できるような資料や写真はありますか?」「(渡部)50周年の時に、坪井先生が昔の写真をつくって展示したことがある。確認する」「(秋元)現役学生のインタビューを含め、現在の状況と古い時の写真やパネルを展示してもいいのでは?」「(浜村)これらの内容はHPに転用できる」ここで、内容が細部に及んできたため、議長が順番に分けて総会&パーティの進行と内容を決めていくことにした。「(秋元)会長挨拶からつづいて、会則改訂はハガキの承認・不承認を報告する。総会としてはこれを押さえておけばいいと思う。お知らせに報告として示す予定で、細かい説明はしない」「(松岡)同窓会の活動内容や常任幹事、連絡幹事のことをわかってない会員に整理して説明をした方がいいと思う。そこをふくめて会則に話をもっていけば」などが話し合われた。

●お知らせの内容について

担当の秋元氏より「総会&パーティのお知らせについて説明したい。表に報告と承認事項として現在の会員数、去年の事業報告、2002年度の決算報告、予算案、会長を含めた常任幹事の名簿、会則変更の旨と2003年活動計画。裏に収支報告、予算案、アサビのアンテナショップの紹介を載せる予定です。返信のハガキには出欠と、承認事項の承認・不承認欄、チェックしてないものや返信のないものは承認としてカウントする。これらはお知らせと返信ハガキにも明記する。ここに書かれた意見は集計の時に確認して、多いものは総会で検討案として発表する。それと返信ハガキに自分の情報を書いてもらい、それを名札にしたい。制作は角谷氏と私でおこないます」と述べた。

●パーティ進行と内容の検討

議長から「流れを整理すると会長挨拶、承認事項が承認された、又はされない事を報告して、会長、副会長、事務局長、監査役、常任幹事の順に壇上で紹介してはどうか」と進行の確認後、「(秋元)当日、係の人もいるので、会の途中なら全員紹介できるかもしれない」「(浜村)校長の挨拶は総会でやるべきか?」「(渡部)パーティでいいと思う」「(角谷)ホームページのPRとかは、パーティの時になるのか?あと、情報の募集をしたらどうか?」「(松岡)常任幹事の紹介の時にWeb担当が言えばよいのでは?」「(渡部)支援委員会としては、つねにホームページとのつながりがあることを示すため、スクリーンにアドレスを表示するなどして、工房体験ツアーの募集や後援会を行っている事を壇上でアピールしたい」などが話し合われた。

●お知らせに掲載する幹事の電話番号と名札の記入方法についての検討

秋元氏からの提案で「過去2回は載せて案内を送っている。ここで検討してほしい。」「(松岡)電話番号を載せる意味は?」「(秋元)参加した人が自分の年度の幹事の電話が確認できる意味もあるが、懸念もある」「(角谷)同窓会とはいえ、幹事個人の情報は必要ないと思う。これは、ホームページにのせるのか?」「(渡部)一人一人確認が取れてないのでホームページでは絶対はずさないといけない」その他に幹事の電話番号の間違ひもあるので載せない方が無難との意見も出され、さらに連絡幹事の役割や選出の方法が不明瞭ということに及んだ。「(渡部)現状は名前がのっているだけなので、仕事の内容を説明した上で連絡幹事になってもらうようにした方が良く」「(松岡)現時点で連絡幹事の名前と電話番号をのせる確認をとると仕事が増える、こう考えると電話番号は必要ないと思う」「(秋元)今回は載せずに、今後、必要であれば載せるようにしたい」との意見の後、議長が「今回は載せない事に賛成の方は挙手をお願いします」と挙手をもとめ、賛成多数で承認された。また、角谷氏から、お知らせに返信ハガキの名札の書き方の見本と説明を載せたいとの提案があり、一同賛成した。

●再びパーティ進行と内容の検討

ここで議長の松岡氏が「乾杯は誰にしてもらうか?」と述べ、「(秋元)菊池校長に挨拶と乾杯をお願いしたい」「(西田)秋元会長の挨拶の後、説明・報告は事務局長がいいと思う」などの意見の後、議長の判断で細かい部分は後で検討することになり、同窓生の表彰をどうするか検討に入った。「(浜村)総会で格式張るより歓談しながら紹介した方が盛り上がるのでは?」「(西田)表彰や来賓を最後にするのは失礼になるので乾杯の後すぐの方がよい」「(秋元)表彰は良いと思うが基準がないので今回は表彰ではなく、紹介と活躍を願って記念品を渡すというのをパーティの中でやったらどうか。小竹さんに関しては奥様を招待して、お礼と記念品を受け取ってもらうのがよいと思う。これは総会の後半で行う」「(西田)表彰というより感謝ということで、しゃれた感じの記念品とカードなどを進呈する事は良いと思う」などが話し合われた。

●パーティ用の映像制作の検討

次にパーティの中で流す予定の、現役学生の映像制作の検討に入った。「(秋元)今の学校を学生に紹介させる形式にすればいいのでは?」「(浜村)学生のアルバイトに「アサビの今」のような形で、簡単に手持ちのビデオで将来の夢などをしゃべってもらうのはどうか?」「(秋元)学生、先生、学校紹介を含めた形にして、学生が制作した雰囲気にして流すのはどうか」と述べた後、一同賛成した。

●学校の歴史紹介の検討

担当の秋元氏から「写真は貸してもらえるのか？パネルの制作を藤原氏から学生に依頼することは可能か？」(藤原)機関誌でまとめてはいるが、まだ半分くらいの状況できびしい」「(浜村)途中までしかない状況なら、やるかやらないのかを決めた方がいい」「(秋元)ある素材の部分までいい、パネルにしなくても写真に日付を入れてピンナップ風に貼るのもいいと思う」という意見の後、制作に入るようになった。

●作品オークションとプレゼントの検討

ここで、感謝式(その後、名称をアサビアワードに決定)の選考についての検討になった。「(松岡)選考基準を聞かれた時、常任幹事のメンバーで決めたという事でいいのか？」(秋元)はい」「(角谷)その人たちに作品をもってきてもらうのか？」(松岡)そういう仕掛けは必要だと思う」などが話し合われた。また同窓生の作品ということから、前回議題にあがった作品オークションの開催について、再度話題になった。「(角谷)オークションはやめたのか？」(浜村)先程も理由はあったが、反応はあまり良くなかった。内々での売買より、トリブ(アサビショップ)で一般の人を買ってもらうならやるかもしれないが」「(秋元)トリブのオープンはいつ？」(渡部)11月末です」「(秋元)一部先行発売ということはできないか？」(浜村)売れなかったら恥をかかしてしまう」「(松岡)オークションではなくプレゼントではどうか。提供してくれる人がいればよいと思うが」「(秋元)今の所、会場で一体感もてるものが無いので、プレゼントを考えてもいいと思う。盛り上がるのではないか」ということで細かい部分は後で検討することになった。

●会費金額の検討と今後の予定

議長の方から当日の会費を決めたいとの提案があった。「(秋元)前回より下げて3000円にしたい。浜村氏が出してくれた飲食関係・会場費の再見直しの金額を含めて、支出を前回の予算案を提出した時よりも10万少ない290万円にした。収入は一人5000円から3000円にしたのでマイナスになる。それを補うために、同窓会ニュースの制作費と発送代を、今回の総会&パーティのお知らせと一本化して、予算立てしていた25万円を印刷通信費としてパーティにまわすことで、150万円の収入という形をとれば、140万円の差額が出る。当初の予算で130万円は皆さんに承認してもらっているが、10万円足りない。この場で10万円を同窓会で負担することを承認してもらいたい。それと会費は、浜村氏に出してもらった見積もりの食材や品数をみても十分と思うので3000円で提案したい」「(小山)参考ですが、目須田氏から『会費について新卒は2000円、一般会員は4000円なども考えられる』という意見を頂いている」「(松岡)新卒は1000円にすることはできないか？」(角谷)補正額が変わるのでは？」「(秋元)追加で赤字が増えることも含めて承認をとりたい。金額を変える事で作業が増える可能性があるので、できれば一本化したい」「(松岡)来てもらう仕掛けがないとだめだと思う。経済的に考えても大丈夫だと思う」「(小山)新卒の方だけという区切りがあればいいのでは？」との意見の後、会費3000円に、また変動制(新卒のみ1000円)にしてよいかを挙手でもとめ、賛成多数で承認された。次に赤字補填額が出る事について秋元氏から「10万円になっているが、新卒の会費1000円という事で、20万円を承認してほしい」との意見が出された後に挙手でもとめ、賛成多数で承認された。

さらに秋元氏から総会&パーティの役割分担は浜村氏と相談後、次回までに決めると約束し、案内状に関しては11月4日を締め切りとして、10月10日から15日の間に発送を予定していると述べた。

議題1/各委員会の活動報告(再審議):在校生支援委員会から渡航補助金について

先程の学生の渡航補助金(5万円)を同窓会で負担する事についての再審議に入った。「(秋元)今回は特例にして渡辺氏から本人にはレポートや報告をしてもらうように話してもらいたい。今回は基準がないので、支援委員会の方の一つの意思表示という形で行いたい」「(松岡)本当は予算立てをしなければいけない」「(藤原)今回出すのであれば2人目が出た時も出してほしい」「(日野)今回はイレギュラーという事で決めればよい」「(秋元)校長には今の意見を伝え、制度化するかは次年度決めたい」などの意見や要望が出されたあと、渡航補助金を同窓会で負担することについてよいかを挙手でもとめ、賛成多数で承認された。

次回日程

10月11日(土)15:00~の幹事会日時の確認をして議会は閉会した。

●議事録

書記/書記/小山優子

校正・制作・文責/秋元圭一・小山 弘